

スマートな運用を拡張して未来志向の工場に対応

Eatonは、Dell NativeEdgeにより製造を推進し、ITとOTを統合してスマートな運用、効率性、サステナビリティを拡張します。



ビジネス ニーズ

Eatonは、230を超えるグローバル製造施設をモダナイズするという重大な課題に直面していました。これを解決するには、情報技術(IT)と運用技術(OT)を統合して、サイロ化したシステムをなくし、導入を迅速化して、人材不足に対処する必要がありました。システムの分断とサイバーセキュリティリスクが、拡張性を妨げ、スマート マニュファクチャリングの目標に向けた歩みを遅らせていました。Eatonでは、急速に進化する市場での競争力を維持するために、運用を合理化し、セキュリティを強化して、リアルタイムのインサイトを引き出すソリューションを必要としていました。

ビジネスへの効果



拡張性、安全性、効率性に優れた運用により、2026年までに全世界の100以上の工場のモダナイゼーションを実現。



ゼロタッチ アップデートにより数日でソフトウェアを導入し、業務の中断を減らして、ITリソースを節約。



予防的メンテナンスとAIで効率性を向上させ、コストを削減し、ダウンタイムを最小限に抑制。



炭素排出量の削減、エネルギーの最適化、よりスマートなプロセスの実現により、サステナビリティ目標をサポート。

ソリューションの概要

- [Dell NativeEdge](#)



ソフトウェア導入時間を3~6か月からわずか数日に短縮し、90%以上の効率性向上を達成。

製造業に革命をもたらし、持続可能な未来を実現

インテリジェントな電源管理のグローバルリーダーであるEatonには、製造業を大規模に再定義するという使命があります。Eatonは、世界中に230を超える製造施設を持ち、サステナビリティとインダストリー5.0に関する意欲的な目標を達成するために、事業をモダナイズして強化する必要性を認識していました。Eatonは、サイバーセキュリティの強化からITシステムとOTシステムの統合まで、堅牢で拡張性のあるさまざまなソリューションを必要とする大きなハードルに直面していました。Eatonはこれらの課題に対処するため、デル・テクノロジーズと提携してDell NativeEdgeを導入しました。Dell NativeEdgeは、エッジと分散型データセンターに特化して設計されたフルスタックソリューションであり、製造業務の合理化、保護、最適化を目的としています。EatonのIT担当バイス プレジデント兼最高技術責任者であるBalaji Ganesan氏は、次のように述べています。「当社の目標は、予測可能で安全、かつ信頼性の高い成果をもたらす製造システムを構築することです。Dellとの連携により、エコシステムをモダナイズして、スマート マニュファクチャリングを推進し、従業員の生産性を向上させ、主要なIT戦略目標を達成できます。」

IT/OTの統合により複雑な製造業をシンプル化

Eatonはこれまで、業務全体の成長と効率性を制限する、サイロ化されたシステムと手動プロセスの課題に取り組んできました。現場のOTとITインフラストラクチャの分断により、非効率性が生じ、進捗が遅れ、拡張性が妨げられていました。Dell NativeEdgeは、IT/OTコンバージェンスを一元化し、よりスマートな製造業のための統合基盤を構築することで、その解決策を提供しました。

Dell NativeEdgeにより、Eatonは施設全体でソフトウェアの導入を合理化できます。これまで3~6か月かかっていた作業を、エッジ アプリケーションのオーケストレーションとゼロタッチ プロビジョニングにより数日で完了できるようになりました。導入スケジュールが大幅に短縮されたことで、Eatonチームは日常業務から解放され、より大きな価値をもたらす戦略的イニシアティブに注力できるようになりました。Ganesan氏は次のように述べています。「NativeEdgeを使用すれば、最も複雑な工場環境でもシンプル化できます。変更は1回で一元的にオーケストレーションして、フルプリント全体で迅速に拡張できます。」

スピードと拡張性を備えたスマート マニュファクチャリングの先駆者

Dell NativeEdgeはEatonのインダストリー5.0構想の出発点であり、Eatonでは、2026年までに90か所の主要拠点にソリューションを導入して、スマート ファクトリー 拡張における新しいベンチマークを確立することを目指しています。ミルウォーキー、ウィスコンシン、アイルランドの拠点での初期導入では、プラットフォームの機能が検証され、複雑な運用の組み合わせとのシームレスな互換性が実証されています。Eatonは、NativeEdgeに関するデジタル ブループリントを作成しました。これにより、プロセスの一貫性を高め、工場のダウンタイムを最小限に抑え、AIを活用した予防的メンテナンスを実行できます。こうしたプロアクティブなアプローチにより、チームは統合された分析から実用的なインサイトを取得でき、総合設備効率(OEE)も向上します。Ganesan氏は次のように述べています。「NativeEdgeはインダストリー5.0への飛躍をもたらします。これは、達成可能な目標であり、かつ大きな影響力を持つ出来事です。重要なことは、より優れた成果を提供すること、そしてよりスマートで迅速な意思決定を行うためのツールを工場に提供することです。」

レジリエンスに優れた持続可能な運用の構築

デル・テクノロジーズとのコラボレーションの主なメリットは、サステナビリティに関する共通のビジョンにあります。Eatonでは、Dell NativeEdgeをBrightlayer Industrialスイートと統合しました。Brightlayer Industrialスイートは、接続性、データサイエンス、サイバーセキュリティを組み合わせ、電源管理を最適化し、ワークロード管理をスマート化し、エネルギー使用量を最適化し、温室効果ガス

“

Dellは、テクノロジーの複雑さを不可視化して、従業員、お客様、パートナー様のエクスペリエンスの合理化に取り組んでいます。

”

Balaji Ganesan

Eaton、IT担当バイス プレジデント兼最高技術責任者

“ NativeEdgeを導入すると、強力なサイバーセキュリティ体制を維持しながら、ゼロタッチ プロビジョニングを大規模に実現できます。

”

Balaji Ganesan

Eaton、IT担当バイス プレジデント兼最高技術責任者



排出量を削減するデジタル プラットフォームです。工場とお客様はこれらのデータに基づくインサイトを活かして、グローバルな脱炭素化の取り組みを推進しながら、エネルギー コストを削減できます。リアルタイムな運用の効率性とサステナビリティの融合は、環境フットプリントの削減に対するEatonの取り組みと完全に一致しています。Ganesan氏は次のように強調しています。「サステナビリティは結果論ではありません。私たちの事業運営と革新に不可欠な要素です。」

製造業の卓越性を再定義

Dell NativeEdgeは、シームレスで安全な自動化を大規模に提供して、グローバルな製造業の可能性を再構築します。Eatonの従業員にとっては、このソリューションでワークフローがシンプルになるため、課題にプロアクティブに対処して、ますます要求の厳しい業界環境での競争力を強化できます。Ganesan氏は次のように述べています。「Dellは、製造業の卓越性を追求するうえで、信頼できるパートナーです。私たちは協力して、レジリエンスに優れ、将来を見据えた工場のあり方を再定義しています。」

スマートな未来のビジョン

Eatonは、デジタル トランスフォーメーション、AIの導入、一貫性の高い運用を徹底的に重視することで、インダストリー5.0に向けて自信を持って歩みを進めています。Eatonは、Dell NativeEdgeフットプリントをグローバルに拡大するというビジョンを通して、成長、持続可能なイノベーション、精度重視の製造によって定義される未来への方向性を

決定しています。Eatonとデル・テクノロジーズは、未来の製造環境の青写真を描いています。このパートナーシップは、目的に沿ってイノベーションを進めることで、世界中の業界に大きな可能性をもたらすことができることを証明しています。最後に、Ganesan氏は次のように述べています。「これは、単なる将来の話ではありません。今すぐに行動を起こして、レジリエンスと持続可能性に優れた未来のために、製造方法と備えを変革することが重要です。」

“

NativeEdgeで運用を変革することで、従業員は手動導入ではなく、ビジネス上の成果の達成に専念できます。

”

Balaji Ganesan

Eaton、IT担当バイス プレジデント兼最高技術責任者

[Dell NativeEdgeの詳細はこちら。](#)

ソーシャル メディアでつながる。



DELL Technologies